

まなびプラン全学年の概要

		I 期 (5月～7月)	II 期 (8月～10月)	III 期 (11月～12月)	IV 期 (1月～3月)
1年	今期学年目標	・自分の考えを表現する(挙手、話し言葉など)。	・自分の考えを表現する。 ・「話す・聞く」の徹底。	・聞き方名人は引き続き指導する。 ・発表の仕方を引き続き指導する。	・発表の基本の型は引き続き指導する。 ・聞き方名人ができるように指導する。
	具体的な取り組み	・表現方法を教える。 ・簡単な2択問題に取り組む。(例「いぬ」「ねこ」どちらが好きですか?など) ・話す機会をたくさん設ける。	・表現方法を教える。 ・簡単な2択問題に取り組む。(例「いぬ」「ねこ」どちらが好きですか?など) ・話す機会をたくさん設ける。	・週ごとに発表のしかたを掲示し、意識して発表できるようにする。	・掲示物作成 ・週ごとに発表のしかたを掲示し、意識して発表できるようにする。
2年	今期学年目標	①自分をもつ。→書く。 ②友だちの話を最後まで聞く。 ③クラスに聞こえる声で話をする。	①引き続き、安心して発表できるクラスの雰囲気作り ②自分の考えをもつ。また、それを書き表す。 ③ペアや生活班に自分の考えを話す。	①引き続き、安心して発表できるクラスの雰囲気作り ②自分の考えをもつ。また、それを書き表す。 ③話し方名人を意識した発表ができるようにする。	①引き続き、安心して発表できるクラスの雰囲気作り ②自分の考えをもつ。また、それを書き表す。 ③話し方名人を意識した発表(グループ・全体)ができるようにする。
	具体的な取り組み	生活 ①聞く・話すポイントの共有 ②話すときの話型の導入 ③自分の感想や考えを書く。 →どこから思ったのかも書く、文章で書くことが難しければ、本文に線を引かせる。 算数 ①個人解決の時間にできる限り、自分の考えをノートに書くようにさせる。 また、答えの出し方や考えを説明する際には、ノートを見せたり、ブロックを動かしたりしながら説明するようにさせる。	①話す・聞くポイントの徹底 ②話型を意識した発表をする ③短くてもいいので、自分の考えを持つ。またそれを書き表す。 ④①個人解決の時間にできる限り、自分の考えをノートに書くようにさせる。 また、答えの出し方や考えを説明する際には、ノートを見せたり、ブロックを動かしたりしながら説明するようにさせる。 ⑤ペアや生活班と話す時間の確保	①話す・聞くポイントを意識した学習をする ②話型を意識した発表をする ③算数の時間に自分の考えを書く時間をとる。その考えをペアやグループで交流させ、考えを深めさせる。 ④ペアやグループで話した内容を全体発表につなげる。	①話す・聞くポイントを意識した学習をする ②話型を意識した発表をする ③算数の時間に自分の考えを書く時間をとる。その考えをペアやグループで交流させ、考えを深めさせる。 ④ペアやグループで話した内容を全体発表につなげる。
3年	今期学年目標	①自分の考えを書く。 ②クラス全体に聞こえるように発表する。 ③発表している人を見て聞く。	①自分の考えを書く、接続語を意識して。 ②クラス全体に聞こえるように発表する。指しながら。 ③発表している人を見て聞く。うなずく	①自分の考えを書く、接続語を意識して、最後に結論、だから～です。 ②クラス全体に聞こえるように発表する。クラスの友達を見ながら。 ③発表している人を見て聞く、質問する。	①自分の考えを書く、接続語を意識して、最後に結論、根拠を持って、だから～です。 ②聞いている人と同じように発表する。クラス全体に聞こえるように発表する。 ③発表している人を見て聞く、考えて質問する。
	具体的な取り組み	①自分の考えを書く。 各教科で自分の考えを書いたり説明をさせたりする。考えには理由をつけることを意識させる。 ②③掲示物、朝学、宿題、授業などで基礎学力をつける。	①自分の考えを書く ②各教科で 思考ツールを使っていく。 ③話し合いや発表の時間を多く設定する。 ④朝学で基礎学力をつける。	①自分の考えを書く ②各教科で 思考ツールを使っていく。 ③話し合いや発表の時間を多く設定する。 ④朝学で基礎学力をつける。	①各教科で自分の考えを書く時間を作る。 ②各教科、自学ノートで思考ツールを使っていく。 ③グループで根拠を持って意見をまとめる話し合いをさせる時間をとる。 ④発表の時間の設定し、発表後の交流をさせる。 ⑤朝学で基礎学力をつける。
4年	今期学年目標	①自分の考えをノートに書く。 ②友達の見聞を聞く。 ③ペア活動やグループ活動を通して自分の意見と同じ所や違うところをみつける。	①自分の考えを理由をつけてノートに書く。 ②友達の見聞を聞いてメモする。 ③ペア活動やグループ活動を通して自分の意見と同じ所や違うところをみつけて発表する。	①自分の考えを書くときに、結論から書いて、そのあとに理由を書けるようになる。 ②発表を聞くときは聞く、メリハリをつける。 ③ペア活動やグループ活動を通して自分の意見と同じ所や違うところをみつけて発表する。	①自分の考えを書くときに、自分なりの根拠をもって書けるようになる。 ②発表を聞くときに相手の方々を向き、リアクションで返すようにする。 ③ペア活動やグループ活動を通して自分の意見と同じ所や違うところをみつけて発表する。
	具体的な取り組み	①自分の意見を書くときに、理由まで書けるように意識させる。 ②発表している児童の方を向いて話をしっかり聞けるように声掛けをする。 ③友達の見聞を聞いて、どこが同じで、どこが違うのかを、まずはペアやグループ内で発表できるようにする。	①自分の意見を書くときに、理由まで書けるように意識させる。 ②発表している児童の方を向いて話をしっかり聞けるように声掛けをする。 ③友達の見聞を聞いて、どこが同じで、どこが違うのかを、発表者に返すことで一方的にならないようにする。	①自分の意見を書くときに、結論から書いて、そのあとに理由を書けるように、書き方が定着できるよう声掛けをする。 ②発表を聞きながらノートを書くこととする児童がいるので、聞くときは聞く、メリハリをつけられるようにする。 ③友達の見聞を聞いて自分の意見との違いなどに気づき、返せるように話し合いの練習をする。	①理由を書くときに自分なりの理由であれば間違いはないことを伝え、自信につなげる。 ②発表を聞いて、うなずく、拍手などのリアクションを返し、発表者の自信につなげる。 ③友達の見聞を聞くときに自分の意見とどこが同じで、どこが違うのかを考え、相手につたえられるようにするために、授業の課題以外にも簡単なやりとりでの練習をする。
5年	今期学年目標	・ペア活動・グループ活動を通して、 ①自分の考えに自信をもつ。 ②それぞれの考え方の共通点や相違点をとらえる。	・算数科において「どうしてその式になったのか」説明する力を付ける。 ・グループ活動の中でわかっている児童が話を進め、周りの児童も自信をもつという形になることが多い。わからない児童の根拠を聞き取ることのできる話し合い活動にする。 ・自信をもって発表できる児童を増やす。	・全員が自分の考えを説明できるようにする。 ・国語科で自分の意見や筆者の伝えたいことなのか、また事実なのかなど文章を正確に書けるようになる。	・全員が自分の考えを説明できるようにする。 ・国語科で自分の意見や筆者の伝えたいことなのか、また事実なのかなど文章を正確に書けるようになる。
	具体的な取り組み	・どのようにして導き出した答えなのかを話し合う。 ・叙述となる文章を見つける。 ・既習内容とのつながりを意識して、自分で考える時間をとる。	・考えに対して、なぜそのようになったのかをノートに書く。 ・自分の考えを班で交流する。	・自信のない児童が話し合い活動を行えるように座席を配慮する。 ・自分の意見なのか、他から得た意見なのか、また事実なのかを整理し、文末の書き方を示す。	・自信のない児童が話し合い活動を行えるように座席を配慮する。 ・自分の意見なのか、他から得た意見なのか、また事実なのかを整理し、文末の書き方を示す。
6年	今期学年目標	①自分の考えを持つ。 ②その考えを自分で文章化する。	・問題をきちんと捉えることができるようにする。 ・根拠となる部分を見つけ、示す方法を考えさせ、練習させる。	・問題をきちんと捉えることができるようにする。 ・根拠となる部分を見つけ、示す方法を考えさせ、練習させる。	・問題を捉え、問いに正対した答えを考え、答えられるようにする。 ・自分の考えを表現する際に、何かしらの根拠を示せるようにする。
	具体的な取り組み	・根拠となる文章に線を引く練習をする。 ・見つけたものをもとに自分の言葉に書きかえる練習をする。 ・問いに正対した答え方を意識させる。	・問いをしっかりと読み、文や図に印を入れさせることで、何を問われているのか(何を答えなければいけないのか)を捉える練習をさせるようにする。 ・自分の考えを何かに書くときに、文章や図、表など使って表現させ、理由を書かせるようにする。	・問いをしっかりと読み、文や図に印を入れさせることで、何を問われているのか(何を答えなければいけないのか)を捉える練習をさせるようにする。 ・自分の考えを何かに書くときに、文章や図、表など使って表現させ、理由を書かせるようにする。	・問題文をしっかりと読み、文や図に印などを入れさせる。 ・問われ方に対して、答え方を意識して指導する。 ・自分の考えを表現する際に、考えの根拠となるものを意識させ、示せるようにする。自分なりの理由をつけさせる。
こすもす	今期学年目標	①自分の考えを表現する。 ②友だちの話の最後まで聞く。 ③声の大きさに気をつけて発表する。	①自分の考えを理由をつけて表現する。 ②友だちの話の体を向けて最後まで聞く。 ③声の大きさに気をつけて発表する。	①自分の考えを理由をつけて表現する。 ②話をしている人の目を見て、最後まで聞く。 ③適切な声の大きさを話す。	①自分の考えを理由をつけて表現する。 ②話をしている人の目を見て、最後まで聞く。発表を聞いた後は拍手をする。 ③適切な声の大きさを発表する。
	具体的な取り組み	①「話し方モデル」を提示して、発表のときに意識させる。 ②発表している児童の方に体を向けて、目を見て聞くように声をかける。 ③声のものを提示し、適切な声の大きさを発表できるように意識させる。	①「話し方モデル(レベル2)」を提示して、発表のときに意識させる。 ②発表している児童の方に体を向けて、目を見て聞くように声をかける。 ③声のものを提示し、適切な声の大きさを発表できるように意識させる。	①理由をつけて言っている子をほめて、全体に話し方を意識させる。 ②発表している児童の方に体を向けて、目を見て聞くように声をかける。 ③声のものを提示し、適切な声の大きさを発表できるように指導する。	①理由をつけて言っている子をほめて、全体に話し方を意識させる。 ②発表している児童の方に体を向けて聞くように声をかける。発表を聞いた後は拍手をする習慣をつける。 ③発表の機会を多く設ける。後ろの人まで聞こえるように、声をかけて意識させる。